へ。国道を２０㎞ほど移動して「魚勇」へ。規模の小さな店だが、年寄り向けの総菜のラインナップにグッとくるものがある。本当は、下泉から文沢林道へ進む予定だったが、「魚勇」のほぼ隣にあるガソリンスタンドが２軒ともやっておらず、ガソリンを入れるために何㎞か引き返さなければならなかった。よって、また引き返すのも面倒なので、そのまま国道をタラタラ走り、智者山林道分岐の富士城集落へ。何を隠そう、秘密の軽トラデポ地は智者山林道の途中にあり、本道から入りにくく見えない場所にある大広場。当然、野宿地としても最高。私は明日、そのままバイクを軽トラに積んで帰るという組長の都合に合わせた野宿地選定であったのである。後はテント設営、焚火、車座、つまみグルグル、腹一杯、酔っ払い、ジョー・ネーマス（１９７０年代に活躍したＮＦＬニューヨーク・ジェッツのスタークォーターバック）。ちなみにＮＦＬはアメリカのアメリカンフットボールのプロリーグ、クォーターバックは、野球で言うピッチャーみたいなもの。何、説明が長い？

記　組長

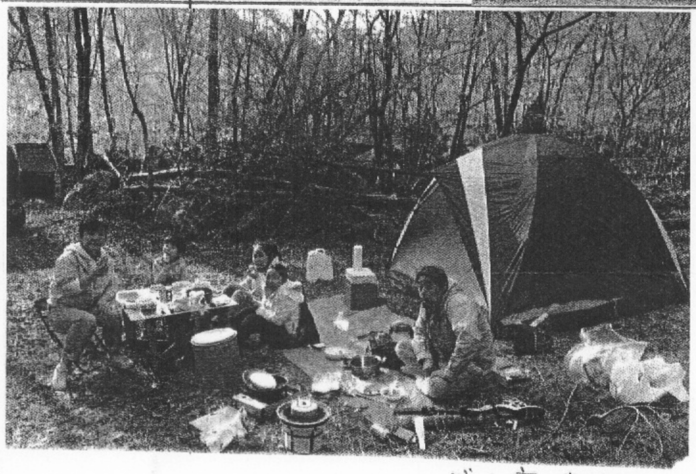
令和元年５月黄金週間寺崎組宴会報告

１８ｘ２回組会報告

とりあえずめでたい令和ホヤホヤの５月２日。組宴会の正式集合日は５月３日であるが、毎年フライング宴会が挙行されるのが恒例となっているのだ。何しろ１０連休なので、渋滞が予想されたが、アクアラインもすんなり通過。中央道に入ってからノロノロ。国立・府中で高速を降り一般道へ。相模湖と甲府で少々の渋滞はあったものの、走行１８万㌔のジムニーＪＢ２３は順調に走る。韮崎のスーパー「大和」（マックスバリューになっていた）で買い出し、昼過ぎにはいつもの宴会場へ。ホームページ管理人の南脇氏がサンバーバンで到着済み。ＪＢ２３寺崎仕様の七川氏も到着済み。二人とも車中泊の準備中。私だけ汚いテントを張る。もう一人、秋田犬のミトちゃんを連れたそよ風氏が黒の軽バンで来ているらしいが、何と冬に宴会するスシ峠キャンプ場にいるらしい。春はコンバットキャンプ場（一般の方は何のことか理解不能だろうが、説明が長くなるので割愛する）だとラインで怒涛の突っ込みが入っているらしい。「もう少しで焚火するところだった」とそよ風氏も到着。そよ風氏も車中泊。薪も集めて準備万端、解禁時間までもう秒読み（あくまでも公式宴会ではなくフライング宴会なので、少々曖昧なのだが）という頃、変な普通車のバンが入って来たかと思ったら一家５名が降りてきた。何と（株）庄司建設社長一家だった。益々大きくなった娘のノコとカンナと息子のスミオとおかみさん。総勢９名（未成年３名含む）によるグルグル宴会開始。３時起き４時出発の私はすぐにジョー・ネーマス。

社長一家を含めた宴会は多分大いに盛り上がったのであろう。朝食後、連休中だというのにカンナの塾が明日から始まるというので社長一家がご帰宅。一気に暇になった。暇だ暇だ島田陽子と言っても暇だ。暇なのでＪＢ２３の軽量化に励む。おかげでクラッチを踏まないとエンジンかけられませんスイッチや、使っていないフォグランプのスイッチと配線など無駄に軽量化されてしまった。昼の解禁は二時半と決まっている。昼前のことだったろうか？記憶は相変わらず定かではない。清貧氏がスズキ（だったかな？）の軽バンで到着。解禁後、プシュッと飲みながら各自ラーメンやらソバやらウドンを煮ている。ちなみに七川氏はアルコールは一切飲めません。なのに宴会で盛り上がっているのは何故だ？記憶が曖昧なので以下順不同です。ビールに似た物から缶チューハイに移行した頃、珍しく早着きの地上の星氏が相変わらず汚いジムニーＪＡ１１で到着。続いて地上の星氏のＪＡ１１と汚さでは引けを取らないＪＡ１１で不燃ゴミ氏が登場。そして、いつもミナギリ電気の鉄氏が仕事用軽バンで到着。まだまだ解禁の午後４時半までは遠い。またまた軽バン（どうも、組のトレンドはジムニーから軽バンに移りつつあるようだ）で松岡村氏。３月の塾は国家試験のため欠席だった。また軽バンの春山ゾウ氏。軽バンは中で寝られるしバイクも積めるし、良いよなあ。続いてはようやくバイクが来た。林道を走るのを一回だけ見たデカい重い超豪華なスーパーテネレに乗るイッペイ氏だ。もうバイクは打ち止めかと思われたその時。赤いＸＲ２５０、縦にやけに長いザック、オンロード用のフルフェイスヘルメット。砺波のシゲル氏だ。そして、ようやく待ちに待った解禁時間。ちなみにその日に来た人はビールに似た物一本までなら解禁時間前に飲んでもよい規則になっている。

そして焚火グールグル（グーグルとは関係ありません）宴会開始。懐メロから中島みゆき（呼び捨てにすると極一部の人達に怒られる）さんなどの歌が始まる前にジョー・ネーマス。



どいく一家の朝食

いつものように明け方直前、朝早く大北方謙三。朝から暇だ。暇は肥満の語源か？暇をついて、明日から仕事らしい南脇氏が帰宅。不燃ゴミ氏は、とうとうＪＡ１１に積めるバイクを購入したとのこと。それは何と七川氏が所有するＸＬＲ８０。それを積んで持ち帰るために、本日は七川氏と七川氏の自宅に行くというので一時ドロンする。今日も泊まる人間に、あれやこれやと買い出しを頼まれて出発。暇だ暇だアッポヒマヒマ（意味不明）。昼の解禁を迎えた頃だろうか。またもや軽バンでＢ型氏が到着。昼食宴会後はいつものように昼寝。昼寝が終わると（惰眠をむさぼれない私）解禁まで暇だ。地上の星氏は、いつものようにチマチマとプラモデル作りに励んでいる。今回も戦車だ、前回も、前々回も戦車だった。全て違う機種らしいが、素人には違いがわからない。そこへ違いがわかる不燃ゴミ氏と七川氏が帰着。不燃ゴミ氏のＪＡ１１には見事にＸＬＲ８０が積まれていた。ピカピカである。七川氏はピカピカが好きなのである。

とうとう今日も解禁の日がやってきた。やあやあと乾杯してつまみが一周した頃であっただろうか、ゴロゴロの空から風と雨もやってきた。慌ててシート張り、あたふたとシート下に各自移動。シート下だと車座になるというわけにはゆかず、つまみがジグザグに一周と３分の２ほど回った頃だろうか。まさかのバイク、ＴＴレイドの牧野石油氏。続いてセロー２５０の世直し氏が到着。ちなみに世直し氏とＢ型氏は下の名前が同じ漢字。Ｂ型氏は直（すなお）、世直し氏は直（なおし）だそうで直コンビと呼ぶことにします。暗くなりかけた頃、ＪＢ２３で平森氏が来たらしいが半分ジョー・ネーマス。記憶が飛んでイスタンブール。飛んで飛んで屯田兵。宴会場のすぐそばにテントを立てていた私は、夜半、春山ゾウ氏の小道具も使っての大盛り上がり独演会を聞いたような気がしました。

朝食後、各自三々五々帰宅の途へ。

昼解禁後、最後まで残ったのは平森氏、エアガンの照準合わせでひと時を過ごし、わざわざ渋滞に突っ込むような真似などしたくない私は、帰宅は明日早朝と決めていた。平森氏の息子のハヤブサくんも元気にやっているそうだ。酒が飲めるような歳になって一緒に野宿宴会するのが楽しみですね。平森氏が帰宅し、やっと一人っきりになれた私。明日早朝出発のため焚火の灰を埋めて地面を平らにし、昼寝後のきっちり解禁時間に夕日を眺めながらに一人テント内宴会。考えてみりゃ、いつも一人旅でやっていることじゃないか。

記　組長

突然ですが記事の穴埋め的

厳冬の、耐えるしばれる北海道　２０１２Ver　その４

Ｒ４０を南下…

快晴の朝を迎えた。近くを走る宗谷本線の列車の音が聞こえる。出発準備を整え、天塩川沿いのＲ４０を南下開始。積雪量は若干多いものの、相変わらず交通量は少なく快適な走行である。途中音威子府の駅で小休止。さらに昨日行こうとして断念した天塩川温泉まで行ってみた。温泉はともかくとして、途中にあった天塩川温泉駅、ここは駅寝に最高！。今度北海道を旅する機会があったら是非泊まってみたいと思った。名寄を過ぎひたすら南下。途中で左手に見えた宗谷本線和寒駅。ここは四半世紀以上昔、初めて北海道ツーリングの時に駅寝をした思い出の駅だ。天気は急変し、地吹雪模様。旭川は道内屈指の大都会。出来れば避けて通りたい。比布町手前からＲ３９へ。さらに愛別から道道へ。途中で昼食にラーメンを食した。地域的に旭川ラーメンと思い醤油ラーメンをオーダー。スープに浮いた油の層で、冷めにくかったのが印象的だった。

どっかの峠

富良野へ…

道道を走り繋ぎ、旭川空港を掠めてＲ２３７へ。美馬牛駅で小休止。さらにＲ２３７を南下と思った所で、急に空が紅く染まりだした。慌てて丘陵地帯へと右折し、夕陽をバックに写真撮影。思いがけない状況変化で、予想さえしなかった感動的な景色との出逢い。まさに旅の醍醐味である。時すでに夕刻。今日の野宿場所を探さなければならない。でも今日は一つあてがあった。以前冬にジムニーで旅した時に泊まった場所があるからだ。富良野市街からＲ３８に折れ、空知川の橋を渡る旧道へ。その先に泊まれる場所があったのだが、残念ながら未除雪でさらにゲートが閉まっていた。又してもダメだ。駅寝をしようと近くの島ノ下駅にも行ってみたが、民家が近いし意外に遅くまで列車があるのでパス。右往左往したものの、日が暮れてしまい場所探しは困難を極めた。潔く野宿は諦め、今日もビジネスホテル泊に決めた。チェックイン後はひとっ風呂浴びて、お決まりの居酒屋へ…。本日の走行２７０ｋｍ。

また続く

編集後記

ゴミ■今回は特別編集大増刊号ですが私は新聞作りに欠席いたします。

地下■さてどうやって印刷するんだよう。

もりタ■カンレキになりましたあ。

組長■久しぶりに原稿書いたぜ。

O型■飲みに来たぜー。年寄り病進行中ー。